

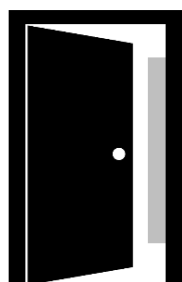
トピックスのとびら

No.182 (2024.2)

Kanagawa
Prefectural
Library

神奈川県
立
図書館

図書館には図書、雑誌、神奈川資料、新聞、視聴覚資料、インターネットといったたくさんの情報のとびらがあります。そのとびらを開いて、時事的な話題を複合的な視点から紹介します。



世界のオザワ 逝く

「世界のオザワ」と評された指揮者の小澤征爾氏が2月6日、都内の自宅で心不全のため亡くなりました。88歳でした。1935年に旧満州国奉天市に生まれ、1959年には単身海外に渡り、カラヤン、バーンスタインに師事しました。1973年にはボストン交響楽団の音楽監督に就任し、以後29年間務めています。1992年には国際的な音楽祭である「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」(現セイジ・オザワ松本フェスティバル)を創立しました。2002年、日本人指揮者として初めてウィーン・フィルのニューイヤーコンサートに登場し、2008年には文化勲章を受章しています。今回は当館の所蔵資料から小澤征爾氏に関する資料をご紹介します。

音楽

小澤征爾さんと、音楽について 話をする

小澤征爾・武満徹/著
新潮社 1981年刊
760.4M/150<11748670>

小澤征爾・村上春樹/著
新潮社 2011年刊
760.4/406<22570782>

武満徹は1961年に「リング」の初演で小澤征爾と知り合います。1967年に作曲した武満の代表作である「ノヴェンバー・ステップス」は、アメリカで活動中の小澤征爾を通じてバーンスタインから委嘱を受けた作品です。

1996年に武満が逝去した後も、小澤は武満作品を演奏する機会が多く、武満が小澤にとって特別な存在であったことが伺えます。

この対談集は二人の音楽家が「音楽」に対して真摯にそして熱く向き合った記録です。

小澤征爾が食道がんの手術を受けた後に企画されたこの対談には、375ページという大部でありながら、長さを感じさせない魅力があります。それは村上春樹という聞き手を得て、小澤征爾がいわゆる「音楽」について、のびのびと話しているからでしょう。そして小澤征爾からこれだけの思い出を引き出したのは、村上春樹の音楽に対する豊富な知識と深い理解、愛情があったからにほかなりません。この本は第11回小林秀雄賞を受賞しています。

その他にもこんな資料を所蔵しています

■ 新聞のとびら

記事名	掲載紙	掲載日・ページ
小澤征爾さん死去 88歳 世界的指揮者	朝日新聞	2024年2月10日 朝刊 1面 ※31面 音楽の光で世界照らす 小澤征爾さん地方から 発信 情熱注ぐ
小澤征爾さん死去 88歳 世界的指揮者	読売新聞	2024年2月10日 朝刊 1面 ※35面 オザワ 日本の誇り 最高峰の舞台で指揮
小澤征爾さんを失って 村上春樹さん寄稿	朝日新聞	2024年2月11日 朝刊 2面

■ 雑誌のとびら

記事名・著者	雑誌名	巻号・ページ	請求記号
特集 小澤征爾 ディスクでたどる演奏史	レコード芸術	第63巻第7号 2014年7月 p14- p58	Z769/13
特集 いつも小澤征爾がいたーオザワというニッポンの巨人	音楽の友	第80巻第6号 2022年6月 p41- p72	Z760.5/2

■ 視聴覚のとびら

書名	著者等	出版者/出版年	請求記号 (資料番号)
武満徹：ノヴェンバー・ステップス、弦楽のためのレクイエム 他	武満徹／作曲 小澤征爾／指揮 トロント交響楽団 ／演奏	BMG JAPAN 1990年	CD18／タケミ (41299694)
ニューイヤー・コンサート 2002 完全収録盤	小澤征爾／指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 ／演奏	PHILIPS 2002年	CD10／シユト (41132127)

お問い合わせ：神奈川県立図書館 資料部情報整備課
〒220-8585 横浜市西区紅葉ヶ丘 9-2 代表電話：045-263-5900
ホームページ：<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/yokohama/index.html>

